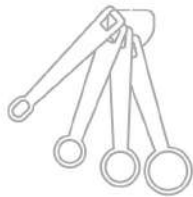


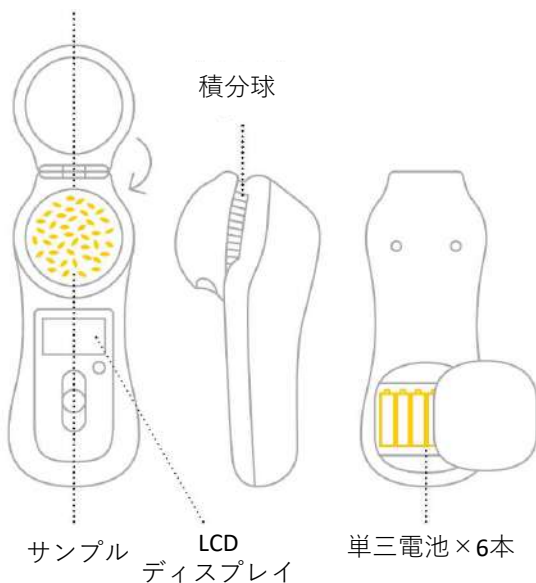
GrainSense Go

穀物用アナライザー

グレインセンス Go (GS Go) アナライザーは穀物の品質（タンパク量、水分、炭水化物量、油脂量）を数秒の内に測定する装置です。



サンプリングトレイ



GS Goの測定原理は、一般的にサード・オーバートーンと呼ばれる波長域の**近赤外線(NIR)分光分析法**です。この手法は長くラボ分析用の機器に採用されています。GrainSense社は世界で初めて、これを手に収まるサイズに落とし込むことに成功しました。

特許技術の試料のサンプリング法（積分球を用いたサンプル充填部）により、他の近赤外線分光分析法に比べ数百倍強い強度の光をディテクターに到達させることができます。この為、より**小型でバッテリー駆動式**のアナライザーの設計が可能になりました。





製品仕様

サイズ	幅 115 mm x 奥行 270 mm
重量	820 g (電池除く)
電池	単三乾電池 x 6本 (産業用の大容量バッテリーのご使用を推奨します) ※標準で充電式乾電池を付属
電池交換頻度	50~100回測定ごと (使用する電池のタイプや質により変動)
測定原理	近赤外線分光分析法 (透過法)
サンプル量	約 3 g (粒のサイズにより変動)
測定時間	約 30秒 (装置の初期化動作、サンプル充填時間を含む)
測定対象 (全粒)	小麦、大麦、オーツ麦、ライ麦、菜種、ヒマワリの種 コーン及び大豆には専用のグラスレストレイを使用
操作条件	温度: +5 ~ +45 °C 湿度: 20 ~ 90 % (結露は不可)
保管温度	-10 ~ +60 °C
保護性能	屋外使用を想定した設計 ただし、サンプルトレイに雨粒が混入すると測定結果に影響を及ぼします
Bluetooth	LE 5.0
対応言語	日本語対応 (予定)
モバイルアプリ	Android / iOS

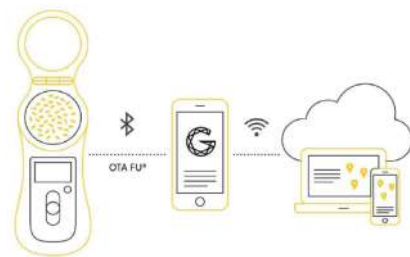
カスタマーサポート: support@grainsense.com



GrainSense 360° 透過光法 (積分球)

- + 短時間での測定が可能
- + 少量での測定が可能
- + より簡易的且つ経済的な設計が可能
- + 装置の小型化が可能
- + 穀物以外の幅広い原料にも対応可能

GrainSenseのソリューションはGS Go アナライザー、モバイルアプリ、そしてクラウドベースのデータベースで構成されます。



GS Go アナライザー GrainSense アプリ GrainSense クラウドデータベース

* Bluetooth接続時、ファームウェア更新

1. **GS Go アナライザー**では、検量線作成済みの穀物を測定します。これによりタンパク、水分、炭水化物、そして油脂の量が数秒で測定できます。GS Go はBluetooth経由でGrainSenseモバイルアプリと連動し、ファームウェアを更新します。

2. **GrainSenseアプリ**はクラウドと連動し、検量線やその他各種の設定をGS Go アナライザーへアップロードする他、アナライザーからクラウドデータベースへ測定データを送信します。

3. **GrainSense クラウドデータベース**及びAPIにより測定結果を保存し、GS Go アナライザーへ (モバイルアプリを介して) 検量線や各種設定の更新を行います。クラウドサービスにはGrainSenseアプリやGrainSense ダッシュボードが含まれます。

